

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月19日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンホールディングス

コード番号 4929 URL <https://www.adjuvant-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中村 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3135

四半期報告書提出予定日 2024年1月26日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年3月21日～2023年12月20日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,500	0.6	94	△61.0	101	△62.9	△16	-
2023年3月期第3四半期	3,479	△1.8	242	△48.6	273	△43.0	334	0.9

(注) 包括利益2024年3月期第3四半期 △10百万円 (-%) 2023年3月期第3四半期 340百万円 (2.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△2.11	-
2023年3月期第3四半期	41.80	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	5,391	4,300	79.8	537.48
2023年3月期	5,551	4,487	80.8	561.02

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,300百万円 2023年3月期 4,487百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	24.00	24.00
2024年3月期	-	0.00	-		
2024年3月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年3月21日～2024年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	2.8	14	△94.0	31	△88.3	△62	-	△7.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料8頁「会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期3Q	8,043,600株	2023年3月期	8,043,600株
2024年3月期3Q	43,003株	2023年3月期	45,403株
2024年3月期3Q	7,994,405株	2023年3月期3Q	7,999,637株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT Dnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済社会活動の正常化を反映して、景気は緩やかな回復基調を維持しました。グローバルでの地政学リスクやインフレに伴う金融引き締めなどによる景気減速リスクは依然として高く、さらに日本国内においては、急速な円安による経済への悪影響や物価高が懸念材料となるなど、先行きの見通しにくい経営環境が続いています。美容業界においては、外出規制やマスク規制の緩和といったアフターコロナの動きが顕著になる中、個人消費活動に持ち直しの傾向が見られ、当社商品を販売するアジュバンサロンにおいても同様の影響がありました。

美容業界のトレンドは、“自分らしく”や“私たちらしく”など、個性を楽しむ時代へと変化しています。一方、生活用品価格の値上げ継続が見通され、従来のお気に入りや我慢をやめたり、トレードダウンする傾向が高まる中、美容業界においても顧客の消費マインドの変化が必然として起こりうると予測されます。

このような経営環境のもと、当社グループは、社員、代理店様、サロン様、お客様との「共創」をテーマに、社内外に向けて「美と健康を通じてすべての人に夢と感動をお届けする」という経営理念を浸透させ、ブランドの強化やトレンドを踏まえた製品開発・顧客消費マインドをプラスにする応援への取り組みを進めています。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、3,500百万円（前年同期比0.6%増）となりました。営業活動もコロナ禍前に戻りつつある中、常態化されたオンラインも活用するなど、より効率的に営業活動を実施し、アジュバンサロンのサポートを強化したことなどの結果、増収となりました。詳細は区分別売上高の概要を参照ください。なお、アジュバンサロン実稼働軒数は、8,386軒（前年同期比304軒増）となりました。

利益面におきましては、売上高の増加はありましたが、棚卸資産評価減、広告宣伝費、通信費、旅費交通費、減価償却費などの増加および保険解約損の発生により、営業利益94百万円（前年同期は営業利益242百万円）、経常利益101百万円（前年同期は経常利益273百万円）となりました。また、前年同期に発生した投資有価証券売却益263百万円がなくなったことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は16百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益334百万円）となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりです。

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
スキンケア	1,388	39.9	1,295	37.0	△93	△6.7
ヘアケア	2,219	63.8	2,265	64.7	46	2.1
その他	154	4.4	240	6.9	85	55.6
売上割戻金	△283	△8.1	△301	△8.6	△17	—
合計	3,479	100.0	3,500	100.0	20	0.6

- （注）1. ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED（連結子会社）、株式会社2C（連結子会社）及び株式会社シアール・プロフェッショナル（連結子会社）の売上高は、「その他」に含んでいます。
2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しています。

国内海外別売上高は、次のとおりです。

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
国内売上高	3,277	94.2	3,318	94.8	40	1.2
海外売上高	201	5.8	182	5.2	△19	△9.5
合計	3,479	100.0	3,500	100.0	20	0.6

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

（スキンケア）

スキンケア商品の売上高は、顧客消費マインドをプラスにするための企画である「MELECTバウンシー」の増量限定商品や美容師向けの「ミスティⅢ」の限定商品など企画を実施しましたが、「MELECTバウンシー」の前年導入期実績を大きく下回ることとなり、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,295百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

（ヘアケア）

ヘアケア商品の売上高は、「KASUIプレミアムエッセンス」の上市、昨年リニューアル発売をした「Re：>>> BASIC LINE（リ ベーシックライン）」の限定サイズ企画実施などが牽引し、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,265百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

（その他）

ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED（連結子会社）の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に小さくなり回復基調にあります。株式会社2C（連結子会社）は、ネット広告を計画的に実施し、順調に定期顧客を増やしています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は240百万円（前年同期比55.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して160百万円減少の5,391百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比較して77百万円増加の3,416百万円となりました。主な変動要因は、売掛金199百万円の増加などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して237百万円減少の1,974百万円となりました。主な変動要因は、投資有価証券の減少91百万円、保険積立金の減少73百万円、繰延税金資産の減少45百万円などによるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比較して26百万円増加の1,091百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して28百万円増加の667百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の増加83百万円、返金負債の増加68百万円、未払法人税等の減少68百万円、賞与引当金の減少37百万円などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して1百万円減少の423百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して186百万円減少の4,300百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失16百万円、配当金の支払による減少191百万円、自己株式の処分による増加12百万円などによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、前回発表（2023年10月20日）の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,528,011	1,610,686
売掛金	437,657	637,026
商品及び製品	898,279	868,798
仕掛品	79,605	25,514
原材料及び貯蔵品	243,583	200,848
その他	156,299	79,341
貸倒引当金	△3,992	△5,282
流動資産合計	3,339,446	3,416,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,180,920	1,190,300
土地	579,283	579,283
その他	448,407	460,284
減価償却累計額	△797,110	△835,552
有形固定資産合計	1,411,500	1,394,315
無形固定資産		
	66,078	55,283
投資その他の資産		
投資有価証券	490,498	399,129
長期貸付金	831	1,132
その他	248,970	130,191
貸倒引当金	△5,730	△5,730
投資その他の資産合計	734,570	524,723
固定資産合計	2,212,149	1,974,321
資産合計	5,551,595	5,391,254
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	84,251	167,735
未払法人税等	89,289	20,528
賞与引当金	89,844	52,046
その他	376,602	427,686
流動負債合計	639,988	667,996
固定負債		
退職給付に係る負債	48,564	47,639
資産除去債務	7,352	7,352
長期未払金	356,345	356,345
その他	12,197	11,754
固定負債合計	424,460	423,091
負債合計	1,064,448	1,091,087

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	776,580	776,580
資本剰余金	747,694	750,475
利益剰余金	3,012,398	2,803,585
自己株式	△45,341	△32,540
株主資本合計	4,491,331	4,298,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,794	△951
為替換算調整勘定	2,609	3,018
その他の包括利益累計額合計	△4,184	2,067
純資産合計	4,487,146	4,300,167
負債純資産合計	5,551,595	5,391,254

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年12月20日)
売上高	3,479,283	3,500,190
売上原価	1,162,501	1,197,278
売上総利益	2,316,782	2,302,912
販売費及び一般管理費	2,074,599	2,208,499
営業利益	242,183	94,412
営業外収益		
受取利息	703	542
受取配当金	6,244	144
為替差益	17,639	17,658
受取家賃	1,150	300
貸倒引当金戻入額	150	—
雑収入	5,171	9,041
営業外収益合計	31,059	27,686
営業外費用		
支払手数料	228	—
保険解約損	—	20,726
営業外費用合計	228	20,726
経常利益	273,013	101,373
特別利益		
投資有価証券売却益	263,253	—
リース債務取崩益	—	7,202
特別利益合計	263,253	7,202
特別損失		
固定資産除却損	331	6,354
投資有価証券売却損	—	2,637
特別損失合計	331	8,992
税金等調整前四半期純利益	535,935	99,583
法人税、住民税及び事業税	82,027	73,655
法人税等調整額	119,561	42,783
法人税等合計	201,589	116,439
四半期純利益又は四半期純損失(△)	334,346	△16,856
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	334,346	△16,856



（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年3月21日 至 2022年12月20日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年3月21日 至 2023年12月20日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	334,346	△16,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△925	5,842
為替換算調整勘定	6,881	408
その他の包括利益合計	5,955	6,251
四半期包括利益	340,301	△10,604
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	340,301	△10,604
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。

これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報）

当社グループは、化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。